

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '生活支援相談 (心配ごと相談) 事業' and '高齢者福祉の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about consultation services for the elderly.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for 手段 (担当者の活動内容), ④活動指標, 単位, and years 26-30. Includes rows for '開催回数' and '高齢者'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 投入量 (事業費) and years 26-30. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '人件費'.

Table with columns for 事業費の内訳 and years 27-30. Includes a summary row for '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	生活支援相談（心配ごと相談）事業	事務事業No.	20603000031	所属課	高齢福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 相談ごとを抱えた高齢者の支援のため開始した。岩瀬・大和地区は桜川市社会福祉協議会に委託し実施しているが、真壁地区についても平成21年度より委託実施することとなった。相談件数は減少傾向にあり、相談受付する機関も消費生活相談センター等がある。平成22年度から、相談件数の減少等に伴い、岩瀬・大和・真壁地区で行っていた相談日を週1回より月2回にして、時間についても午後1時30分から3時30分に3地区統一して行った。平成27年度は相談日を各地区月1回に変更する。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 専門的な相談がしたい

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	行政政策としての窓口は必要だが、高齢者に対してだけの窓口としてはふさわしくない。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	公共性関与は必要だが、高齢者に対してだけの窓口としてはふさわしくない。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	年々、受付件数が減少している。しかし、幅広い行政相談に対応できるだけの環境を整えるのは難しい。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input type="checkbox"/> 影響無	専門的分野での窓口を広く周知すれば廃止しても問題はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	消費生活センター・行政相談窓口・包括支援センターなど目的に応じた窓口対応。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業を休止する。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	事業を休止する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成27年度は積極的な広報をし、そして開設日は減らしての実施としたが、受付件数は増えなかった。また、相談内容は悩み相談（愚痴）のような内容で特に解決策を見出すようなものではないことから平成28年度より休止とする。今後、相談窓口はなくなったことで困ったという状況が起これば復活させるが、そうでなければ廃止の方向とする。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	-																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認 広報等で周知し35回開催するが23回は、相談件数0であった。また、専門職による相談機関も設置された為、休止とする。